

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年4月17日

団体名 手話サークルはぐるま

代表者 鈴木 聖

構成員 24人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

聴覚障がいに伴って生起している諸問題について、社会的に理解を深め、聴こえない者と聴こえる者との相互交流を図ることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益※1を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
R5. 4~ R6. 3	社会福祉センター	会員 見学者	8人	25人	毎週水、土曜日の定例会、手話と聴覚障がいに関する問題についての学習などを行った。	手話や聴覚障がいについての理解を深め、会員の交流ができた。
R5. 9. 3	岡崎市内 小学校 4校	4校の小学校の 防災訓練参加者	400人	5人	手話ブースにて聴覚障がい者が災害時に困ることや配慮してほしいことも伝え、その時必要な手話を教えた。	聴覚障がい者への接し方や配慮するべきことがわかった。
R5. 12. 10	岡崎公園	社会見学参加者	1人	10人	デラ蓉の高橋さんが手話でガイドしているので手話の読み取り練習も含めて社会見学ができた。	城の手話とか岡崎市の歴史の手話についても学べ、いろんな発見ができた。

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 4 3 ② 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

まだコロナの影響で、会員以外に対しての活動があまりできなかったため。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。